



預かりボランティアの増田さん。親子で取り組んでいます。

カワイイからではなく、同じ命あるものとして、
守らなくては! という気持ち。



菅さんと、保護主の大熊さん、里親の根本さん。皆さん、ねこのエプロンがお似合いです。

猫を救いたいという人が
集まっていた。

日曜日の午後、猫の譲渡会があるというので、お伺いしました。会場に着いたのは、午後2時過ぎ。机の上にキャリーケースに入れられた猫が並べられてあります。この日はいつもより大盛況だったので、会場は熱気にあふれています。

どんな方が来場しているかというと、まずは保護主。猫を保護した本人で、その猫に対する責任と権利を持っています。里親を誰にするかの決定権を持ち、医療費の一部と食費などを負担します。

預かりボランティアは、保護主から保護猫を一時的に預かるボランティアです。保護主が何匹もの猫を抱えることはできないため、里親から一時的に預かるのです。猫を人慣れさせるのも預かりボランティアの役目です。取材をしていると、知り合いを見かけました。ご近所の増田裕子さんです。預かりボランティアをやっているようで、2人のお子さんを連れて、お手伝いに来ていました。

そして、里親。里親には、猫を責任持って飼うことができる環境や身の上にあるかななどの条件があるそうです。家に誰もいない時間が多いという人も、里親には不向き。この日も、猫を救いたいという

気持ちがあっても、その自覚が中途半端だったり、投げ出すことになってしまった場合、猫がづらい目に合うからです。ちなみに、不妊去勢手術が施してあっても無償でも、子猫でも成猫でも、医療費の平均金額として一律1万5,000円の譲渡費用をいただいているようです。

モラルの無さを
目の当たりにした。

当会の会長は菅良枝さんです。譲渡会中は、里親を希望する方への猫の引き合わせにとっても忙しいのですが、なんとかお話を聞くための時間を取っていただきました。

菅さんが育ったファミリーはみんなが猫好きで、多い時で10匹ほど飼っていたことも。それ以上、増やし過ぎても良くないとの両親の考えから、エサ欲しさにやってくるノラ猫にも不妊手術を施していたそうです。そんなふうで育った彼女は、大人になり、不妊手術していいない猫が多いことを知ります。また、それにより、猫が増え過ぎている、行き場のない猫は殺処分されることも知ること。転居先の新宿では、道端で野垂れ死にしている子猫に遭遇。捕獲器を自作し、捕まえて(Trap)、不妊手術を施し(Netter)、元

居た場所に戻す(Return)TNR活動に乗り出します。多くの人の協力のもと、多い時は年間100匹の手術を実施したといえます。

行動力のある菅さんは、飯能市に戻ってからも実家近くの猫に不妊手術を施す一方、動物指導センターで殺処分される猫を引き取るために当会を立ち上げ、猫の譲渡会の認定団体をめざします。5年ほど前に登録認定され、現在に至っています。

「飯能に来てから感じたのは、野良猫の多さですね。拾った猫の不妊手術も大切ですが、それよりもセンターで殺処分される猫を救う方を優先しました。私たちだけの力では限りがあるので、拾った人は飼うか、自ら里親を探す努力をしてほしい。」と菅さんは訴えます。

日本は諸外国と比べると動物支援の取り組みが遅れていると、菅さんはいいます。殺処分の件数は、目に余るものがある状況だそうです。無責任な飼い主は、単純に「いらなくなっただけ」などの理由で保健所にペットを持ち込みます。そんな現状を変えようと、東京都では「2020年に向けた実行プラン-TOKYO-ZERO」のなかで、目標より早く動物の殺処分ゼロを達成。東京からこの取り組みを発信しています。

里親募集中の猫ちゃんたち。ウイルス検査陰性、去勢手術済み。ノミ取り、検便、ワクチン済みです。



ねこ猫ネコの会

飯能市を中心とした地域で、飼い主のいない猫を減らす為の地域猫活動(不妊去勢手術=TNR)と、野良猫が産んでしまった子猫の里親探しのお手伝いを主な活動としている。

猫の譲渡会予定

7月21日(日)午後2時~4時 8月18日(日)午後2時~4時
会場: 武田ミシン2階(飯能市柳町5-15)

★寄付を募っています。

ゆうちょ銀行 口座名義: ねこ猫ネコの会
店番: 019(飯能サピア内) 預金種目: 当座(4)
口座番号: 600854 口座記号番号: 00190-4-600854

当コーナーへの掲載をご希望するサークル・グループがありましたら、お気軽にご連絡ください(無料)。

中央商事(担当: 渡嘉敷) TEL 042-974-3200